

# 新年の幕開けを共に祝う

## 平成22年 奥出雲町新年賀詞交換会



賀詞交換会の様子

新春を寿ぎ、町の更なる発展を願う「奥出雲町新年賀詞交換会」が一月四日、横田コミュニティセンターで開かれました。  
合併後初めての開催となった交換会には、井上町長をはじめ、議員、自治会長、町内企業や各種団体の代表者など約百七十人が出席しました。  
年頭にあたり、井上町長から昨年の町の動きや町民の活躍を振り返るとともに、今後の施策などが述べられ、「今年度は尾原ダム関連事業の完成年度となる重要な年であり、また経済対策事業についても引

き続き取り組んでいきたい。町民の皆さんのエネルギーを一本にして、子育て支援を始め、元気で明るい奥出雲町を皆さんと共につくってきたい」と挨拶がありました。  
また来賓を代表して、糸原県議、千原議長からそれぞれ挨拶があり、商工会の渡部一夫会長の乾杯で賀詞交歓が行われました。  
今年度は町政施行五周年の節目の年にあたり、様々な事業が予定されています。  
出席者は皆で力を合わせて町の発展に取り組んでいくことを誓い合いました。

# 防災の決意新たに

## 奥出雲町消防出初式

町内の消防団員が一同に集結して行なう「奥出雲町消防出初式」が一月九日、町民体育館で行われました。  
式典には、安部正教団長をはじめ、新入団員十六名を含む六百人の団員が出席し、防災の決意を新たにしました。  
式典では、各種功労者表彰や長年消防活動に尽力された十六人の退団者の方に感謝状が贈られました。

厳肅な雰囲気の中、井上町長が「複雑多様化、高齢化する社会情勢の中で、消防団の皆さんには迅速な対応が求められている。団長以下一致団結して、防災、防火に尽力してほしい」と式辞が述べられました。  
また、安部団長から「消防人としての誇りを持ち、自信、元氣、和をもって町民



訓示を述べる安部団長



全団員揃っての出初式



町民が見守る中、力強い分列行進

の期待に応えてほしい」と訓示が述べられました。  
式典終了後には、役場仁多庁舎前で、全団員が四十八台の消防車両と共に分列行進を披露し、沿道から声援を送る地域の方に見守られながら防災の決意を新たに、一歩一歩力強く行進しました。  
その後、今年の無火災を祈り、三成護岸道路から斐伊川へ一斉放水を行い、川岸には美しい水の九本のアーチが描かれました。  
昨年町内では、事故扱いを含めて八件の火災（うち建物火災三件）が発生しました。  
町では二月に三沢分団、来年度に鳥上分団の消防ポンプ自動車を更新し、四基の耐震性貯水槽を整備する予定で、今後も一層の消防施設拡充と団員の処遇改善を図ります。  
なお、本年は安来市で開催される鳥根県消防操法大会に、「ポンプ車」の部で亀高分団が、また「小型ポンプ」の部に鳥上分団の出場が決定しています。

# 大健闘 師走の石見路を快走

## しおかぜ駅伝で奥出雲チーム 第三位



喜びの表情・奥出雲チームの皆さん

十二月十三日、第十八回浜田 益田間駅伝競走大会（しおかぜ駅伝）が開催され、奥出雲チームは、見事第三位に入賞しました。  
大会は、益田市の益田陸上競技場をスタート、浜田市のしまねお魚センターをゴールとする九区間、四十二・一九五キロで行なわれ、県内四十チームが出場しました。  
同チームは、一区十九位と出遅れたものの、後半の見事な追い上げで、二位浜田市とはわずかに十九秒差、追走する四位松江市とは十二秒差で逃

- |     |        |
|-----|--------|
| 第一区 | 吉川 智恵子 |
| 第二区 | 朝倉 祐樹  |
| 第三区 | 加藤 周三  |
| 第四区 | 和久利 英之 |
| 第五区 | 朝倉 一樹  |
| 第六区 | 小白根 美穂 |
| 第七区 | 小村 哲也  |
| 第八区 | 藤原 誠伍  |
| 第九区 | 白川 将伍  |



選手の前さんは次のとおり  
げ切りしました。  
藤原幹男監督は「選手全員が力を出し切った結果。来年は女子区間を強化し、さらには上を目指したい。町民の皆さんの応援に感謝します」と話されました。  
なお、一般区間の第八区を走った藤原誠さん（自衛隊米子）が区間賞、二区の朝倉祐樹さん（横田中・三年）が中学男子の部で敢闘賞に輝きました。  
今後の更なる活躍を期待します。

# 更なる精進を誓う

## 剣道越年稽古



剣道は礼に始まり、礼に終わるもの。

恒例の剣道越年稽古が、大晦日から元旦にかけて、仁多中学校武道場で行われました。  
平成三年から行われている稽古会には、町内小中学生や横田高校生、帰省中の大学生、社会人など、剣道を志す仲間約百人が集まり、心地よい汗を流しました。  
午後十一時から始まった稽古会では、恩師の先生や先輩の胸を借り、かかり稽古、切り返しなど熱の入った稽古が行われました。  
町内の剣道部は、幅広い世



稽古始め式の様子

# 年越しに勇壮な響き

## 仁多乃炎太鼓 年越し演奏会

新年を迎える恒例イベント「仁多乃炎太鼓年越し演奏会」が、大晦日から元旦にかけて、三成の仁多土木事業所前の広場で行われました。  
このイベントは、来る年が町民の皆様にとって希望に満ちた年となることを願い、平成五年から始められ、今年で十八回目。すっかり奥出雲の年越しの風物詩となつていま

演奏会は、大晦日の午後十一時から始まり、小雪の舞う中、「炎太鼓」、「たたら囃子」、「深山」などお馴染みの曲や町内の子供たちで結成されている仁多乃飛炎太鼓の元気な演奏が披露されました。  
フィナーレでは「打てや囃さん」の曲に合わせて、訪れた多くの見学者も一緒になつて踊り、賑やかに新年を迎えました。



雪の降る中、新年を祝い賑やかに演奏